【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公表番号】特表2011-528138(P2011-528138A)
【公表日】平成23年11月10日(2011.11.10)
【年通号数】公開・登録公報2011-045
【出願番号】特願2011-504013(P2011-504013)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　1/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　1/00　３３３Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月4日(2012.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定数のサンプリングされた信号の各々に対応するデータを伝達するように構成される機能ブロック（１１０）と、
前記データを受け取るとともに前記所定数のサンプリングされた信号の各々に対する対応する重み値を記憶し、対応する高論理値を有する前記サンプリングされた信号の前記重み値を合計し、前記重み値の合計に基づき電力推定数を決定するように構成される電力モニタ（１３０）と、
電圧及び周波数の調整を前記機能ブロックに伝達し、前記電力推定数に応じて前記機能ブロック内で電力消費挙動を変更するように構成される電力マネージャ（１４０）とを備えたシステムであって、
前記重み値は、統計的ランダム処理により近似されるノード容量切り換え挙動を前記機能ブロックが有すると仮定する統計的解析を用いて決定されるシステム。
【請求項２】
前記電力推定数は環境変化とは独立した再現性のある値である、請求項１に記載されたシステム。
【請求項３】
前記所定数のサンプリングされた信号は１つ以上のクロックゲータイネーブル信号を含む、請求項１に記載されたシステム。
【請求項４】
前記所定数のサンプリングされた信号の各々に対する所定の重み値を記憶するように構成される重みテーブルを更に備えている、請求項３に記載されたシステム。
【請求項５】
前記重み値は、ポアソン分布を有している統計的ランダム処理により近似されるノード容量切り換え挙動を前記機能ブロックが有すると仮定する統計的解析を用いて決定される、請求項４に記載されたシステム。
【請求項６】
前記重み値の記憶は予め定められた数のクロック周期毎に１回行われる、請求項１に記載されたシステム。
【請求項７】

サンプリング間隔内の所定数のサンプルは前記統計的解析から決定される、請求項６に記載されたシステムであって、
【請求項８】
前記所定数のサンプリングされた信号は、動作周波数、前記サンプリング間隔、及び前記所定数のサンプルから決定される、請求項７に記載されたシステム。
【請求項９】
前記所定数のサンプリングされた信号は１つ以上のクロックゲータイネーブル信号からなる、請求項７に記載されたシステム。
【請求項１０】
前記機能ブロックは１つ以上のユニットを備え、同じ所定数のサンプル及び同じ所定数のサンプリングされた信号に対して、前記１つ以上のユニットの各々は前記機能ブロックよりも低い信頼性レベル及び高い正確性を備えている、請求項９に記載されたシステム。
【請求項１１】
所定数のサンプリングされた信号の各々に対応するデータを機能ブロックから伝達することと、
前記データを電力モニタで受け取るとともに前記所定数のサンプリングされた信号の各々に対する対応する重み値を記憶することと、
対応する高論理値を有する前記サンプリングされた信号の前記重み値を合計することと、
前記重み値の合計に基づき電力推定数を決定することと、
電圧及び周波数の調整を前記機能ブロックに伝達して前記電力推定数に応じて前記機能ブロック内で電力消費挙動を変更することと、を備えた方法であって、
前記重み値は、統計的ランダム処理により近似されるノード容量切り換え挙動を前記機能ブロックが有すると仮定する統計的解析を用いて決定される、方法。
【請求項１２】
機能ブロック（１１０）及び電力マネージャ（１４０）と通信するように構成されるインタフェースと、
所定数のサンプリングされた信号の各々に対する重み値を記憶するように構成される重みテーブル（５０４）と、
高論理値を有する前記サンプリングされた信号の前記重み値を合計するように構成される重み積算器（５１０）と、
前記電力マネージャに電力推定数を伝達するように構成されるチェインコントロール（５０２）とを備えた電力モニタ（１３０）であって、
前記重み値は、統計的ランダム処理により近似されるノード容量切り換え挙動を前記機能ブロックが有すると仮定する統計的解析を用いて決定され、
前記電力推定数は、前記重み値の合計から変換されたものである、電力モニタ。